

ふくい街角景気速報

(令和3年8月分)

調査期間 令和3年8月10日～24日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは38.6となり、前月と比べ11.7ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは43.9となり、前月と比べ10.0ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 38.6 (前月比 ▲11.7)

○家計動向関連では、前月に比べ 14.7ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ 3.8ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 20.4ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○コロナ感染者が増え、外出を控えている人が多い。福井県の緊急事態宣言も延長となり、飲食店も時短営業をしている店が多く、本当に淋しい状況。(商店街)

○新型コロナの影響で観光部門の売上げが通常の40%に留まり回復が見られない。

量販店への売上げも一時的勢いがなくなり、多少減り気味である。(食料品製造関連)

■景気の先行き判断DI 43.9 (前月比 ▲10.0)

○家計動向関連では、前月に比べ 7.9ポイント低下した。

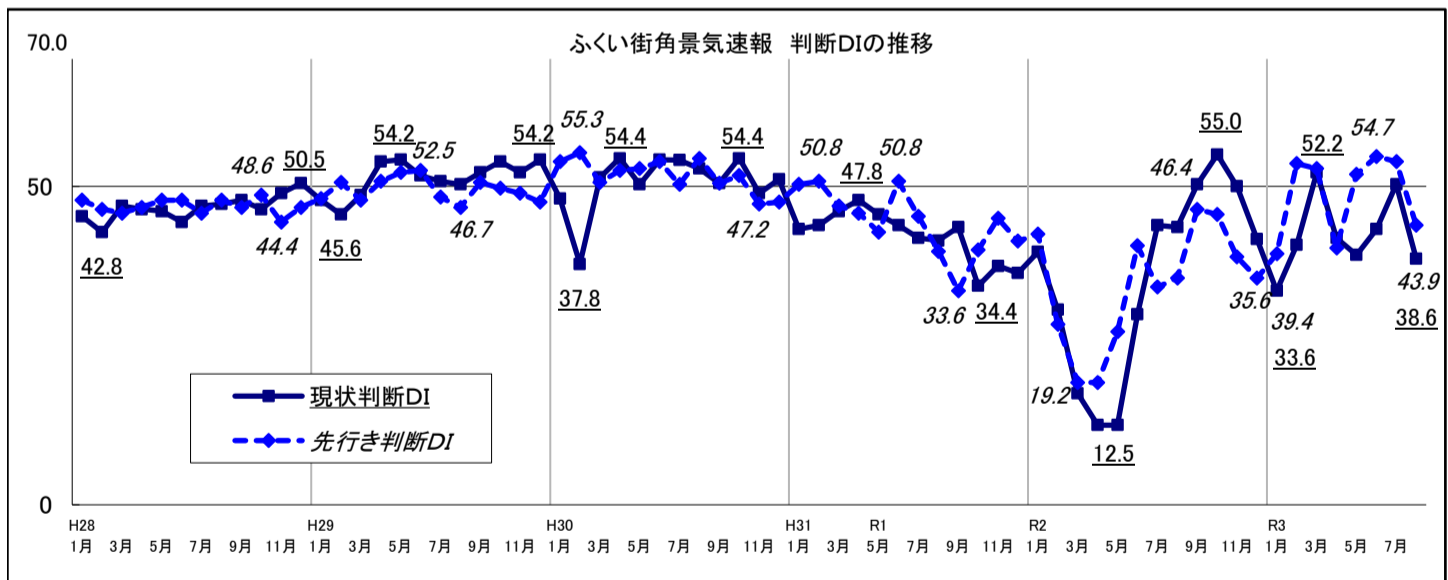
○企業動向関連では、前月に比べ 11.2ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 13.7ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○ワクチンの接種が進んでいるが感染拡大が落ち着かないので、今の状況から大きく好転するようなイメージが湧かない。(スーパー)

○世界的な電子部品不足による市場悪化が予想される。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		52.2	41.9	39.2	43.3	50.3	38.6	▲11.7
家計動向関連		51.1	37.0	34.0	39.8	46.1	31.4	▲14.7
小売		52.5	40.8	33.6	37.5	43.1	31.5	▲11.6
飲食		50.0	30.0	15.0	43.8	50.0	25.0	▲25.0
サービス		47.7	29.5	45.0	45.0	52.1	33.3	▲18.8
企業動向関連		52.3	46.2	41.4	42.9	50.7	46.9	▲3.8
製造業		48.9	46.0	41.3	47.0	54.0	46.9	▲7.1
非製造業		60.0	46.9	41.7	32.5	41.7	46.9	+5.2
雇用関連		56.3	50.0	54.5	59.1	65.9	45.5	▲20.4

○回答別構成比

	年 月	R3 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなっている		3.3%	2.2%	1.1%	1.1%	3.3%	1.1%	▲2.2
やや良くなっている		28.9%	16.7%	13.3%	12.2%	20.0%	12.2%	▲7.8
変わらない		46.7%	40.0%	42.2%	51.1%	53.3%	37.8%	▲15.5
やや悪くなっている		15.6%	28.9%	27.8%	30.0%	21.1%	37.8%	+16.7
悪くなっている		5.6%	12.2%	15.6%	5.6%	2.2%	11.1%	+8.9

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		52.8	40.3	51.9	54.7	53.9	43.9	▲10.0
家計動向関連		53.9	34.2	49.5	52.8	48.9	41.0	▲7.9
小売		48.3	36.7	46.1	49.2	44.0	38.7	▲5.3
飲食		62.5	40.0	45.0	62.5	62.5	43.8	▲18.7
サービス		65.9	25.0	62.5	60.0	56.3	45.8	▲10.5
企業動向関連		52.3	46.2	50.8	55.7	58.1	46.9	▲11.2
製造業		54.3	49.0	51.1	57.0	58.0	46.9	▲11.1
非製造業		47.5	37.5	50.0	52.5	58.3	46.9	▲11.4
雇用関連		50.0	47.7	65.9	59.1	61.4	47.7	▲13.7

○回答別構成比

	年 月	R3 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなる		3.3%	1.1%	6.7%	4.4%	5.6%	2.2%	▲3.4
やや良くなる		28.9%	15.6%	22.2%	33.3%	28.9%	13.3%	▲15.6
変わらない		47.8%	38.9%	48.9%	43.3%	44.4%	47.8%	+3.4
やや悪くなる		15.6%	32.2%	16.7%	14.4%	17.8%	31.1%	+13.3
悪くなる		4.4%	12.2%	5.6%	4.4%	3.3%	5.6%	+2.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	福井	観光関係	今月度に関してはインターハイが開催されており宿泊客が増えている。しかしながら、全国的な感染拡大と恐竜博物館の休止などがあり観光客の予約キャンセルが膨大に増えている。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	スーパー	コロナ禍で飲食店の時短営業もあり、外食を控える方の影響で利用増につながっている。
	企業 動向	福井	眼鏡関連	景気回復策「ふく割」が始まった6月末ごろから売り上げが向上して現在に至る。
		丹南	電気機械関連	大手メーカーのスマートフォン向けの需要が増加傾向にある。
	雇用	福井	学校就職担当者	求人票の求人数が昨年度より増えている。
③変わらない	家計 動向	福井	一般小売店	コロナ禍の状況が変わらず、客数、売上額ともに低迷したままで、回復の兆しが見えない。ある程度ワクチンの接種率が進まない限り、人の動きは鈍く消費も上向かないと考えている。
		嶺南	百貨店、SC等	コロナ再燃により食品は堅調であるが、衣料・住居関連品については影響が出ている。
		福井	観光関係	県独自の緊急事態宣言により時短営業をしているところもあり、第4波の時より世間の自粛ムードを感じている。
	企業 動向	福井	繊維関連	売上、利益共低迷している。受注量も増えてこない。新規受注の話も少ない。
		福井	化学・プラスチック 関連	新型コロナ感染拡大に歯止めがかからない状況および自動車減産の影響もあり、今一步回復に力強さが欠ける状況が続いている。
		福井	運輸関連	コロナの関係からか商業物流が若干横ばいになっている。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	県内の求人数をみると、製造業(化学、電子部品)、卸・小売業(主にドラッグストア)について求人が増加傾向にあり、食品加工業や多店舗展開の飲食店などは求人が減少しているが、有効求人倍率は大きく変化していない。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	嶺南の新規求人数は、原発、介護、建築・土木が続いており、特に介護は増加傾向にあるが全体としてはあまり変わっていない。帰省者の減少等で、お盆特有の需要は伸び悩んだ。飲食・宿泊は依然厳しい状況が継続。
④やや悪くなっている	家計 動向	奥越	百貨店、SC等	コロナの状況が変わらず、未だ遠方への買い物を控える傾向が出ているため、その点は自社にとっては悪くない。ただ、近くに出来たマックスバリュの影響により、競合店が強力になった分、厳しい状況になってきている。
		坂井	スーパー	コロナ第5波が本格化。外出自粛の意識が強く、客数が減っている。
		福井	サービス業関連	新型コロナ感染症の感染者が増加し来店客が減少し、お客様との接触も難しくなり、また新車の納期が長期に及ぶためお客様の購買意欲が落ちたため。
		坂井	観光関係	福井県も独自の緊急事態宣言を出すなど、全国的にコロナウイルス感染状況が拡大して猛威を振るっている中、キャンセルが相次ぎ新規の予約が入らない。
	企業 動向	丹南	伝統工芸関連	コロナで販売先が閉店している。
		丹南	食料品製造関連	新型コロナの影響で観光部門の売り上げが通常の40%に留まり回復が見られない。量販店への売り上げも一時の勢いがなくなり、多少減り気味である。
	雇用	福井	学校就職担当者	学費納入に関する相談が増えてきている。
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	コロナ感染者が増え、外出を控えている人が多い。福井県の緊急事態宣言も延長となり、飲食店も時短営業をしている店が多く、本当に淋しい状況。
		福井	コンビニエンスストア	夏休み・お盆と年間で最も売上の良い月であるが、市況の悪化により来店客数が激減した。
		福井	飲食関連	消費が一向に嗜好品、冠婚葬祭に向かっていないため。
		福井	観光関係	第4波の感染拡大で、更に移動を伴う旅行は避けられ、予約自体がほぼゼロになった。
	企業 動向	福井	商社	コロナの感染拡大で県を跨ぐ移動の自粛にて、県外の観光客が前年の8月よりも悪くなっている。ガソリンの販売数量は前年の10%減、3ヶ月前よりも明らかに悪い。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	嶺南	観光関係	10月末までのワクチン希望者接種の完了で、雰囲気はずっと良くなり、Go Toキャンペーン全体が動き出せば、飛躍的に活況を呈するものと思う。
②やや良くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	ワクチン接種が進み、生活様式にもいよいよ変化があり、3ヶ月後ぐらいからはトラベル、年末年始準備需要が期待されるため。
		坂井	観光関係	感染者数がピークアウトし、ワクチン接種率も上がっていけば良くなっていくのではないかと。
	企業動向	福井	一般機械関連	国内及び欧州も一定の受注高が見込まれるので、前年比で年末までは良くなっている。
		奥越	電気機械関連	2ヶ月先の受注がやや高めで推移している。
	雇用	嶺南	労働相談員	10月から11月には新型コロナウイルス感染症のワクチン接種もほぼ終了し、日常が戻ってくると判断する。外食産業や観光業が復活するので、景気は徐々によくなると思う。
③変わらない	家計動向	丹南	百貨店、SC等	新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続く中で、都市部を中心に緊急事態宣言等での経済活動への影響が出ていることから、当面景気が上向き状況が見通せない。
		坂井	スーパー	ワクチンの接種が進んでいるが感染拡大が落ち着かないので、今の状況から大きく好転するようなイメージが湧かない。
		嶺南	飲食関連	台風、長雨の影響及び、コロナ感染者の増加による。時短要請による飲食店の消費の低下や県外からの観光客の減少、県の観光施設の閉鎖による消費の減少も影響すると思われる。
	企業動向	丹南	電気機械関連	コロナ感染は落ち着いてくると思われるが、世界的な電子部品不足による市場悪化が予想される。
		福井	化学・プラスチック関連	全国にわたる感染拡大が今後当面継続する影響で、なかなか本格的な回復には至らないと思われる。
		福井	銀行等金融関連	今後のコロナの感染拡大状況により、緊急事態宣言や海外のロックダウン等の長期化による景気への影響が懸念される。ワクチン接種の普及によりいち早く日常を取り戻し、景気が回復することに期待する。
		丹南	建設・不動産関連	ウッドショックが解消にならない限りは、資材高騰問題が続き、売上仕入在庫価格に影響される。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	日本はもちろん、世界的にも新型コロナ感染症感染拡大に歯止めがかかっていない。アジアに拠点を持つ会社では生産量が落ち、国内に入る部品なども品薄になるなど、影響を受けている産業も多く、先行きが不透明になっている。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	嶺南地域は観光産業への依存度が高いが、コロナ感染拡大の終息が見えない中、観光業界はイベント等を開催することができず、県内外においコロナの感染拡大が続く中で、アフターコロナとしての景況改善の時期が見込めない。
	④やや悪くなる	家計動向	嶺南	一般小売店
福井			スーパー	新型コロナワクチン接種が進んでいるとはいえ、変異株への効果が不透明な現在、行動自粛による買い控えというよりは、先行き不安感と所得減少による金銭的な理由により消費の減少が続くと思われる。
嶺南			家電販売店	コロナ第5波の景気停滞感が強くなってきた。
嶺南			飲食関連	緊急事態宣言もあり、8月後半からは観光客などは減っている印象だった。現在は、景気は良くなり、コロナや緊急事態宣言の有無が売上に大きく影響すると思われる。
坂井			観光関係	2～3ヶ月以内でこのウイルス感染状況が終息していくとは思えない。
企業動向		福井	繊維関連	大都市圏でコロナ感染が増えてきているため、人の動きが制限されている。
		奥越	繊維関連	原材料の高騰及び不足に起因するインフレ傾向。デルタ株感染の拡大。中国のIT規制・工業品貿易規制などにより、やや悪くなると考える。
雇用		嶺南	就職情報誌	県内のコロナ感染が増加してきており、今後感染者が減少しないと景気は上向きにならないと思う。
⑤悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	「ウッドショック」による業界への悪影響が出ている。仕入先からの商品値上げ、欠品、入荷遅れが連絡がある。ワクチン接種による消費喚起は、まだ先であり、個人消費が増えて、景気が上向きような状況ではない。
	企業動向	福井	眼鏡関連	コロナがひどくなり、出張が出来なくなると思われる。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)